

発行者：

東京大学 GCOE

都市空間の持続再生学の展開

東京大学大学院都市工学専攻

環境デザイン研究室

〒113-8656 東京都文京区

本郷7-3-1 工学部8号館7F

## 玉浦緑を育てるプロジェクト始動！

2012年11月3日4日および11月17、18日で、岩沼市に自生する木からドングリを採取し、ポットに入れるドングリイベントを開催しました。このイベントは、津波によって壊滅的な被害を受けた沿岸部の防潮林を再生し、津波災害の減災を目的とした千年希望の丘を構築するプロジェクト「玉浦緑を育てるプロジェクト」の一環として行われました。

ドングリをグリーンピア岩沼の近くの山や金蛇水神社・竹駒神社で拾いました。参加者は地元の方のほかに名古屋のNPOの方や東大の学生で、通称がドングラーズです。拾ったドングリの種類は、コナラ・カヤ・シラカシ・アラカシです。ドングリは、一晩水につけました。日曜日に、里の杜の東集会所の前で、土を入れたポットにドングリを植えました。水につけるのはドングリのからを柔らかくして発芽をしやすくするためです。ドングリの植え方は、日本大学の大澤先生のご指導のもとに行いました。土を入れたポッドにドングリを土の表面から1cmほどのところに横向きに植えます。ドングリを深く植えすぎると発芽した芽が地上に出れずに枯れてしまいます。反対に、浅すぎるとドングリが乾燥してやはり発芽しません。

仮設住宅からの参加者の方からは、普段は外に出ないが、このイベントが開催されたことによって外に出る機会ができた喜びの声が聞かれました。また、愛知のNPO法人「どんぐりもんごり」が一部のポットを引き受けて現地で育てて、その後に岩沼の沿岸部に植えるプロジェクトが進んでいます。

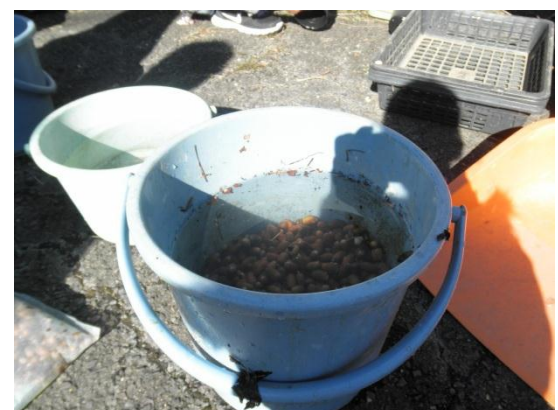
植えたドングリが無事に発芽して、未来の玉浦をまもる緑の渚となるよう、育てていきましょう。



図：津波災害の減災を目的とした千年希望の丘の概念図



写真：グリーンピア岩沼でのドングリ採取の様子



写真：水につけたドングリ



写真：ポッドへドングリを植える様子（里の杜東集会所の前で）